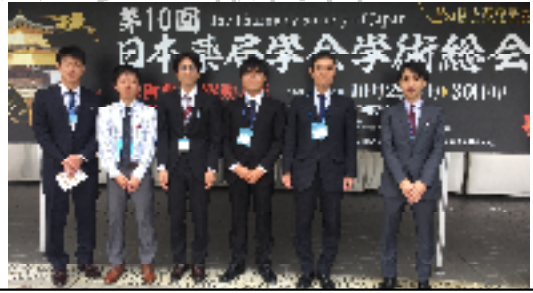
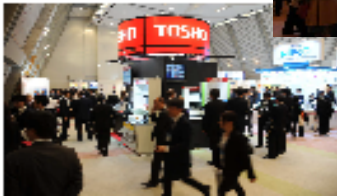


第10回日本薬局学会学術総会 参加報告書

日本薬局学会学術総会が10月29日(土)～30日(日)の二日間にかけて京都の国立国際会館で開催されました。今年度の調剤報酬改訂によって登場した「かかりつけ薬剤師制度」、「健康サポート薬局」や「高齢患者様の残薬管理」の問題についての意見交換が活発に行われた学会でした。当社でも1件ポスター発表を行い、当社で収集しているプレアボイドの発表を行いました。社外の方の取組を聞くことができ、非常に刺激を受けることができました。



写真左から渡辺薬局長(久喜驚宮店)、宇野薬局長(日吉本町店)、中里エリアマネージャー、永井さん(マリアナ医大前)、松尾薬局長(日吉本町駅前店)、田口薬局長(ちとせ店)

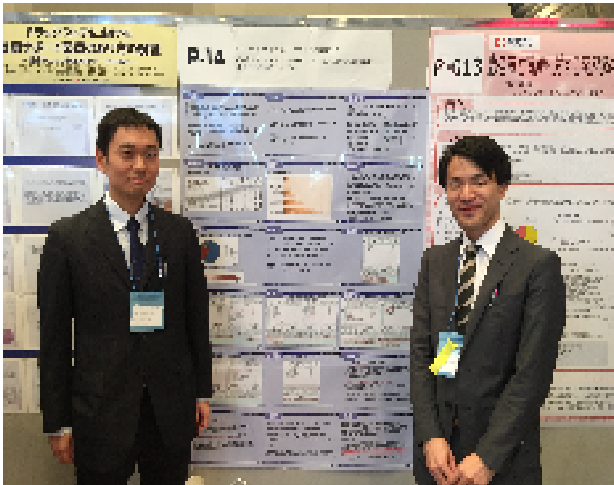
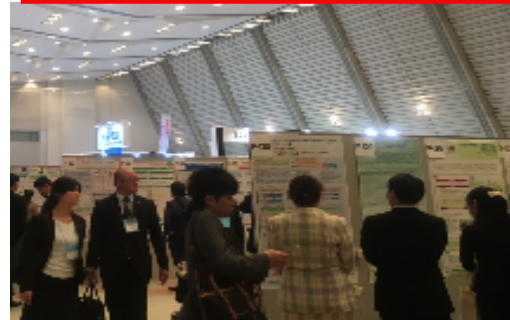


服薬指導や医薬品の適正使用などのテーマがあり、全部で143題のポスターの展示がされました!

▼一般演題(ポスター発表)

▲企業ブース

最新の分包機や錠剤自動払い出し機などが展示されていました!



当社からは1演題ポスター発表を行いました。
タイトルは「クリエイト薬局におけるプレアボイド報告の有用性」。プレアボイドとは薬剤師が薬学的に判断し副作用や薬物相互作用等を回避した事例のこと。事例集は薬局長会議を通して各店へ配布され、共有化されたことで患者様への適切な薬物治療を提供できることが期待されます。



●参加者の声より

今回の学会では今年度登場したかかりつけ薬剤師制度や残薬問題、在宅医療など幅広い分野において薬局薬剤師の先生方が取り組まれていることを見聞きました。薬という「モノ」だけではなく患者さんという「ヒト」への業務の推移を感じさせられ、同じ薬局というフィールドで働く身として非常に刺激ある2日間でした。次回は大宮ソニックシティ(埼玉県)での開催が予定されています。是非とも足を運んでみてはいかがでしょうか。